

陳 情

<p>【陳情名】 (継続審査分) 事業系ごみ処理に係る陳情</p> <p>【提出者名】 大竹商工会議所 会頭 谷岡 茂</p>	<p>【要旨】 我が国の経済は、世界経済の成長の鈍化に伴い先行きが見通せない状況となっており、燃料や原料等の高騰など数々の問題により疲弊し、地方経済はいまだ回復途上にあります。新型コロナの終息も見え始めてはありますが、完全に回復しているとは言い難い状況です。 このような中、市では事業ごみの減量化、市の負担軽減に向け、処理料金の値上げを令和6年度より現状の50%アップに改定されようとしています。本市においても、一部の企業を除き、小規模、零細事業所では、いまだ厳しい経営状況が続いているのが現実です。</p> <p>陳情項目 1. 事業系ごみ処理に係る料金値上げについて、小規模、零細事業者の経営負担軽減を図るものとして、一度に50%アップという急激な値上げではなく、市内の経済状況を加味し、実情に沿った段階的な運用をお願いいたします。</p>	<p>【付託委員会】 生活環境委員会</p> <p>【委員会の結果】 継続審査</p> <p>【本会議の結果】 継続審査</p>
<p>【陳情名】 (継続審査分) フェリー無料乗船券と居住地域周辺市道舗装についての陳情</p> <p>【提出者名】 阿多田区自治会 会長 柳川 美喜男</p>	<p>【要旨】 阿多田区民は、早朝より夜遅くまで米軍機の騒音に日々悩まされており、日常生活に影響が出ております。少しでも島民の不満を軽減する為にも阿多田区民の多人数の要望がある2件について陳情申し上げます。</p> <p>陳情項目 1. フェリー無料乗船券について 現在、70歳以上で48枚の無料券が配布されていますが、買い物や阿多田診療所で受診出来ない専門治療（歯科医等）に掛ければ月2回の無料券では不足します。出来れば72枚/月3回に増券をお願い致します。 70歳以下の区民も同様であり、高齢家族の付添で出かける人もいます。小・中学校の父母も参観日や学校行事の出席等々ありますし、島民全員を配布対象に考えて頂きたく、よろしく願い申し上げます。</p> <p>2. 島民居住地（農道を除く）周辺市道の舗装について 現在の舗装は数十年前のものと思われ、全体的にかなり傷んでいます。道路は、かなりの凸凹が有り、酷い箇所については部分的に対処して頂いていますが全体的には解消できていません。 高齢者は少しの凸凹でもつまずき、転倒し、大怪我の可能性もあります。側溝に鉄板を敷いており、ゆがんだり、隙間もあり危険な場所もあります。怪我人が出ない内に早急に対処願います。</p> <p>本会議での意見 【委員会での継続審査とする結果に反対】 根底には、阿多田地域の騒音に対する島民の我慢と忍耐によって国からの交付金がある。委員会では阿多田地域のフェリー運賃と、他地域のバス運賃が同レベルの物差しで審査されていた。これには納得できず、継続審査には反対する。</p>	<p>【付託委員会】 生活環境委員会</p> <p>【委員会の結果】 継続審査</p> <p>【本会議の結果】 継続審査</p>

📺 本会議及び委員会の動画配信中

大竹市議会では本会議及び委員会の録画映像を動画で配信しています。
下記読み取っていただくと、動画配信サイト（YouTube）へ移行し視聴できます。



Youtube 大竹市議会



/で検索/